

事務事業 No./名称	■サービス部門 市民-24 商工業振興運営事業				ザイムスコード及び個別事業名						
	□支援部門				377	商工業振興運営事業					
主管課	産業振興課		関連課		378	商工会議所助成事業					
分野名	産業振興										
目標 (目標値)	中小企業の経営相談業務を充実するとともに、商工業の振興を図る。										
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考							
	人口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)							
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯								
運営資源 状況	決算値	16,565千円	16,675千円	事務事業の内容 ①商工振興アドバイザー派遣事業 ②鎌倉商工会議所 (中小企業相談所) 助成事業							
	(国・県)							指標と評価			
	(負担金等)							指標	商工振興アドバイザー派遣回数		
	(一般財源)	16,565千円	16,675千円					評価	○		
	人員配置数	0.1人	0.2人					◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退			
	人件費	919千円	1,924千円						目標値	実績値	
	協働の パートナー										
事務事業 運営経費	総事業費	17,484千円	18,599千円	20年度	8件	4件					
	市民1人当りの経費	99円	105円	21年度	8件	7件					
	対象者1人当りの経費			22年度	5件						
ベンチマーク (県内外自治体や民間 団体との比較値)	団体名			23年度	8件						
				最終年度 (年度)							
創意・工夫・課題等 改善状況	課題・問題点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ・事業者の課題の多くは短期的な金融対策であり、中長期的な経営戦略はあまり立てられていない。									
	創意・工夫・課題等の改善点 21年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ・様々な経営・金融相談に対応するとともに、ケースによって、県、商工会議所等の相談窓口を紹介した。 ・商工振興アドバイザー派遣制度については、広報かまくら及びホームページに掲載し、周知を図った。									
	未解決の課題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか)									
	今後の方針 (対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ・引き続き、事業者の経営相談に的確に対応できる体制を維持する。									
一次評価(課長評価)				二次評価(部長評価)							
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了											
評価結果	改善の必要性			評価結果	改善の必要性						
B	無	県、商工会議所等と連携し、事業者の経営相談に対応できる体制を維持する。		B	無	県、商工会議所等と連携し、事業者の経営相談に対応できる体制を維持する。					
課長名		川村 裕伸		部名・部長名		市民経済部・小磯 一彦					